

ちの市議会だより

第29号

2019年5月22日

発行／茅野市議会

編集／議会広報部

〒391-8501

長野県茅野市塚原二丁目6番1号

☎ 0266-72-2101

FAX 0266-73-7936

<https://www.city.chino.lg.jp/>

WEBで検索

茅野市議会

検索

目次

委員会の審査	33
本会議討論	37
陳情議決結果	38
議決結果・賛否一覧	39
議長あいさつ・委員会紹介	40
一般質問通告一覧	41
編集室より	42
	43

平成31年3月 定例会のあらまし

茅野市議会3月定例会は、2月25日(月)から3月20日(水)までの会期で開催されました。
補正予算や条例など19議案が審議され、いずれも原案のとおり可決、同意されました。また、陳情5件が審議され、1件が採択、4件が不採択となり、意見書案1件が可決されました。

平成31年度予算を可決 一般会計254億2千万円

前年度比5億5千万円(2.2%)の増
平成31年3月定例会に上程された新年度予算案について、全議員が所属する「予算決算委員会」で審査を行いました。

茅野市議会

「保護司会と更正保護女性会と 懇談会を行いました」

懇談会を行いました

2月12日(火)に、市役所にて茅野支部保護司会(有賀英和支部長)・茅野市更生保護女性会(両角敦子会長)と、茅野市議会との初めての懇談会を行いました。

保護司会は、罪を犯した人に寄り添い、社会復帰を支える民間ボランティアとして、法務大臣から任命されて活動していますが、犯罪者の更生が難しく、また、業務内容が大変なことから引き受け手がないなどの窮状を訴えられていました。また、市更生保護女性会は、児童養護施設への支援物資の寄贈や更生施設訪問のほか、小中学校における薬物乱用防止教室への協力、子どもカフェの開催などの活動を報告され、主に犯罪防止や青少年健全育成に力をいれているとし、それぞれの立場で一層の協力を求められていました。

初めてお聞きする活動内容が多く、両会の意義・役割やご苦労を改めて理解するとともに、茅野市議会として、「犯罪のない明るい社会へ手を取り合って活動していく」必要性を強く感じた懇談会でした。



保護司会・更正保護女性会との懇談会の様子

予算決算委員会

委員長 宮坂 武男

議案第12号

平成31年度茅野市一般会計
予算について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ254億2千万円と定めるもの。

【討論】
●反対意見

「国保会計へ一般会計からの繰り入れがないこと、事務事業の棚卸し予算を計上し事務事業の見直しを外部にゆだねること、研修予算などを指摘し、本予算に反対。」

●賛成意見

「様々な事業の説明を受けたが、特に新規事業、拡充事業、各部署積極果敢な取組をしていると感じた。また、市民に寄り添った気配りのある事業も多かった。時代を捉えた、非常に期待感の有る事業を展開していただけるものと思う。市民の期待に応えられるような行政であって欲しいと願う賛成。」

議案第13号

平成31年度茅野市国民健康
保険特別会計予算について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ55億8276万9千円と定めるもの。

【討論】
●反対討論

「国保世帯は、全世帯のうち、約35%が国保世帯。そのうち55%の世帯が何らかの軽減措置をされている。数字上から見ても、経済的に国保が置かれている状況が垣間見える。特に、子育てに逆行するような子ども均等割は、分かっていなくても25の自治体で子ども均等割の減免の動きが広がっている。子どもの減免など一般会計より繰入れをさらに求めて、反対。」

●賛成討論

「国民健康保険は、平成30年度から県が市町村と共に国保運営を担う、新しい制度がスタートした。始まったばかりの新制度を見守りつつ、国民皆保険の中核を担い、地域医療の確保と健康増進に貢献してきた国保特別会計が、安定的に運営されることを期待し、賛成。」

議案第14号

平成31年度茅野市後期高齢者
医療特別会計予算について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ7億4298万円と定めるもの。

【討論】
●反対討論

「高齢の方は経済的に大変で生活が苦しく、消費税の増税は困るといふ。市でも来年度の予算で、まだ増税を見込まずに予算を組み、その分、困っている市民の生活を支える、保険料を下げるようなところにお金を使うべきと考え、本予算に反対。」

●賛成討論

「高齢化の進展により、制度開始当初から、長野県後期高齢者医療広域連合への負担金など、一般会計からの負担額は2億2000万円ほど増額となっている状況。今後、団塊の世代が75歳をむかえる事から更に負担額が増加すると思われるが、高齢者の生活を支える医療制度が、安定的に運営されることを期待し、賛成。」

総務環境委員会

委員長 北沢 千登勢

議案第1号

平成30年度宮川第二保育園
改修建築主体工事の
請負契約について

可決

この議案は、平成30年度宮川第二保育園改修建築主体工事の請負契約を行うため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。



現地視察の様子

問 「宮川第二保育園を新築した場合、費用はどのくらいかかるのか。」

答 「新築した場合、宮川第二保育園は2億5843万円ほどかかる。大規模改修の場合は、2億5590万円ほどで、経費については大きな差はない。しかし、新築の場合、市の一般財源の持ち出しが5100万円。それに対し、大規模改修の場合は、持ち出しが1282万円ほどで済む。さらに新築の場合は、補助金や起債の交付税措置はない。」

問 「外壁について、宮川第二保育園と中大塩保育園とは工法が違うが、差を教えてください。」

答 「床面積が700㎡を超える」と、建築基準法で要求される構造体が変わってくる。660㎡の宮川第二保育園は一般の外壁の基準でできるが、中大塩保育園は1200㎡で準耐火建築物となり、屋内消火栓をつけなければいけない。」

問 「杭の工法と本数、設計監理を行なう会社はどこか。」

答 「杭は交換杭の打ち込み工法で、65本打つ。設計監理は南諏設計建築共同企業体である。」

問 「防音壁の対応は。」

答 「業者側や保育園側とも協議をしながら設置し、園児の生活環境を整備する。」

議案第2号
平成30年度中大塩保育園
改修建築主体工事の
請負契約について



この議案は、平成30年度中大塩保育園改修建設主体工事の請負契約を行うため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

問 「昨年大規模改修した北山保育園や小泉保育園との建築単価の違いは。」

答 「宮川第二保育園の改修工事の平米単価については27万6千円、中大塩保育園は20万5千円をそれぞれ見込んでいます。宮川第二保育園は、杭打ち工事やトイレの新築工事があるため、平米単価が高くなっています。また、北山保育園の平米単価は17万3千円、小泉保育園は18万円です、これらに比べると中大塩保育園の単価は高い要因としてはオリンピックピククの工事における人件費の高騰が考えられる。」

問 「天井に張る石膏ボードの安全性と、設計監理の委託業者は。」

答 「天井の工法は一般的で、石膏ボードはビス打ち止めをす

る。委託業者は、サン建築設計企業が行う。」

問 「中大塩保育園を新築した場合、費用はどのくらいかかるのか。」

答 「新築した場合は、3億7714万3千円ほどかかる。大規模改修の場合は、3億3426万円になる。一般財源の当年度の持ち出しは、新築の場合、7500万円。それに対し、大規模改修では1676万円の持ち出しで済む。」

議案第5号
茅野市行財政審議会設置
条例について



この議案は、多様化する市民ニーズに的確に応え、質の高い行政サービスを提供し、持続可能なまちづくりを行うことを目的として策定した行財政に係る計画を推進するにあたり、重要事項を調査し、及び審議する茅野市行財政審議会を設置するためのもの。

問 「新しく設置される審議会の狙い、目的、背景は何か。」

答 「今回の審議会は、多様化する市民ニーズへの対応や、質の高い行政サービスを進めるために、第5次総合計画の分野別計画である行政経営基本計画推進や、

進行管理のご意見を伺う組織にする。この組織は、これまでの行財政改革推進市民委員会とは位置づけを変えて、住民自治の取組やシティプロモーションの分野にも範囲を広げる。」

問 「委員のメンバーは具体的にどのような人を考えているか。」

答 「市民・民間の団体の代表と、市民活動の代表者、商工会議所や青年会議所の代表者で6名程度。知識経験者では、理科大学の先生、会計事務所の経営者、資格をお持ちの経営分野の専門家、シティプロモーションの関係もあるので広告に詳しい関係者、外から見ての視点として移住者、二地域居住者など6名程度、あとは公募の委員を含めて15名以内で考えている。」



議案第7号

茅野市廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、学校教育法の一部改正に伴う廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部改正に伴い、技術管理者の資格に係る規定を整備するためのもの。

問 「専門職大学とは具体的にどのような大学を言うのか。」

答 「特定の職業のプロフェッショナルになる為の知識、倫理、実践的なスキルを身に付ける大学で、この4月に認可を受ける大学が2校ある。ひとつはファッション関係の専門職大学、もうひとつはペット関係の短期大学になる。」

議案第9号

茅野市国民健康保険診療所の料金等に関する条例等の一部を改正する条例について

可決

この議案は、社会保障の安定財源の確保等を図る、税制の抜本的な改革を行うための、消費税法の一部を改正する等の法律等により、10月1日から消費税及び地方消費税を合算した税率が10%になることに伴い、国民健康保険診療所の

料金等を改正するためのもの。

問 「なぜ3月に条例改正するのか。6月でも良いのではないかと。もう少し行く末を見定めてからでもいいのではないかと。」

答 「周知期間を長くとるために、今回提案させてもらった。」

【討論】

● 反対討論

「5割6割の国民が、まだまだ消費税増税に納得していないという昨今の中で、もう少し待っても良いのではないかと。また負担が多すぎるという理由で、この条例には反対。」

● 賛成討論

「消費税法で10月から10%になることに伴う条例改正。それに基づいて予算編成もされている。公営企業は、消費税法の制度の中でやっている。制度を尊重し適切な改正をしていくことが筋であると考え、賛成。」

陳情3

「消費税増税中止を求める意見書」の採択を求める陳情書

不採択

不採択の意見

「消費税を増税することで、医療費や介護費の負担軽減や、子育て支援策の充実など、われわれは恩

恵にあずかることになる。増税しなければ成り立たなくなることは前々からわかっていたことなので、不採択。」

「市民の中で議論・研究するのはいいことだ。しかし、茅野市議会の議長名で意見書を提出するのは、なじまない。」

「これから先の福祉社会の維持、福祉国家をつくるために、増税中止という意見書を採択することは出来ない。」

採択の意見

「今はまだ、景気回復の実感がなからだ。消費税の増税の中で、多くの予算を投じて軽減対策をしている。この時期の増税は天下の愚策。増税しないことが最良の景気対策だ。」
「市民生活に直結するこの陳情を、採択してもらいたい。」



陳情4

「核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書」の採択を求める陳情書

不採択

不採択の意見

「2年前の平成29年3月議会に提出された、『日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約締結を求める意見書の提出に関する陳情』に自分は賛成した。しかし、今般の近隣諸国の不安定な情勢を考えると、日米安全保障条約の核の傘の重要性を再認識せざるを得ない。今回は不採択としたい。」

「日米安保条約で、アメリカの核の傘に守られている状況の中で、日本の立場は難しい。防衛という国の専権事項を、一地方議会が議長名で意見書を出すのはいかがなものか。」

採択の意見

「北朝鮮の核開発は、2、3年前はまだ開発途中であった。今は再建して、ミサイル実験をやるような兆候も見受けられる。2年前とは雲泥の差であり、状況が全然違う。」

「被爆者の魂の叫びを真摯にくみ取り、採決してほしい。」

「まずは核兵器を持たないという国民の意思を、地方から国に声をあげていく必要がある。」

陳情5
「米軍基地負担に関する意見書」
の採択を求める陳情書

不採択の意見

「今、アメリカでは、在日米軍基地の経費負担問題が浮上している。その問題を、刺激するようなことは避けた方がいいので、不採択。」

「日米地位協定は、安全保障体制上極めて重要なものである。意見書の内容にも納得がいかず、軽々に地方議会で議論することではないので、不採択。」

「意思を明確にする材料が少ない。情報が限られている。そうした中で、総合的な判断や審議ができる状態ではない。」

採択の意見

「沖繩だけでなく、47都道府県知事が国に米軍基地負担に関する提言をした。長野県でもオスプレイが飛行している。治外法権で、安心安全が保たれていない状況にあるので、採択してほしい。」

「意見書を出して、意思を明確にすることも大事だ。」



経済建設委員会

委員長 長田 近夫

議案第8号

茅野市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例について



この議案は、学校教育法の一部改正に伴う水道法施行令及び水道法施行規則の一部改正に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格に係る規定を整備するためのものである。

問 「専門職短期大学についての扱いはどの様になるのか。」

答 「専門職短期大学も該当になる。」

陳情2

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書



採択の意見

「国、政府でも進めていると言う事なので、後押しする面で採択。」

「去年とは情勢が変わってきて、国の方も真剣に取り組んでいる、全体を見て今回は採択。」

陳情6

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書



不採択の意見

「皆伐して天然林化すると言うのは現実味がないので採択は見送りたい。」

「森林環境譲与税の使い方は個人の山を対象とした税なので個人の意向も考えていない、また、防災の関係からも危険な要素があり賛成できない。」

福祉教育委員会

委員長 両角 秀章

議案第6号

茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について



この議案は、学校教育法及び放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格に係る規定を整備するためのもの。

問 「支援員の資格について、教育職員免許法が追加されることによって、現在より資格を得るのが、難しくなったのか、易しくなったのか。」

「今回の改正は支援員資格保有者を明確にするための改正という位置づけであり、実質的な内容に変わりはない。教員免許制度の中で、免許の10年更新制が導入されているが、現在の条例記載には、教員の免許更新を受けているかが明確ではなく、また、放課後児童支援員の基礎資格として教員免許状を取得した者であれば、更新していなくても、その資格を有する者として取扱っているため、運営上は従来と変わらない。」

答 「現状、支援員はどのくらいいるのか。」

「児童クラブに従事している者の44名のうち、有資格者である支援員は25名いる。」

問 「有資格者の支援員と補助員の給与等の差はあるか。」

答 「給与等の差はない。」

答 「給与等の差はない。」



本会議における討論

議案第9号

茅野市国民健康保険診療所の
料金等に関する条例等の一部を
改正する条例について

可決

● 反対討論

「消費税は今、上げると景気が悪くなり、市民生活に大きな影響を及ぼす。また、生活に関わる水道水に消費税をかけるのは言語道断。政府の言いなりに10%にすることは納得できない。10月はまだ先であり、今回提案するべきではないという思いから反対。」

● 賛成討論

「方向性としては現時点では改定をしていくと決まっている。行政の立場では準備作業はなるべく早く行い、市民に知らせて理解してもらうことが必要と考え、賛成。」

陳情3

「消費税増税中止を求める意見書」
の採択を求める陳情書

不採択

● 反対討論

「国の1000兆円を超える借金や増大する社会保障費、子育て支援などの財源として消費税が謳われている。議員個人や市民団体が

関心を持って研究・活動することは否定するものではないが、茅野市議会としてこの陳情を採択し、議長名で、国へ意見書を提出することは地方議会の権限外であると思うため、本陳情には反対。」

● 賛成討論

「市民に10月の消費税10%への増税ストップの署名をお願いして歩くと、ほとんどの人が署名に応じてくれる。生活が成り行かない、年金は減る中で止めてほしい、増税は買い控えがおき、景気が悪くなるという声が出される。国の税金は消費税だけではなく、法人税増税や所得税増税もある。消費税だけ一方的にあげるのは納得できない。家計消費支出や実質賃金は下がる。消費税増税は景気を悪くするのは必至。10月の消費税増税は止めるべきという考えから、本陳情に賛成。」

陳情4

「核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書」
の採択を求める陳情書

不採択

● 反対討論

「現在、70か国が署名、批准した国は22か国にとどまっています。核保有国と、核の傘により国の安全保障が守られている国は、会議には参加していない。NPTにおい

て核保有国を5か国に限る枠組みを作ったが、保有国は増え続けてきている。国同士の思惑、いさかい、駆け引きとして核保有という事実が使われ、日本は唯一の戦争被爆国として核廃絶を訴える立場であると同時に、米国の核の傘、核の抑止力によって守られている現実がある以上、核兵器禁止条約へ、日本政府が参加すべきとの本陳情については反対。」

● 賛成討論

「唯一の被爆国日本のすることって何だろうと考えたとき、核兵器禁止条約に反対をするなんてことはありえない。外交や他国との緊張感の話よりも、ただ単純に表題に対して素直にどう思うかと考えた時には答えは一つ。世界に範を示せるのは唯一の被爆国の日本の役目。また、茅野市は昭和59年非核平和都市宣言をしている。この陳情に賛成することは茅野市議会の務めと考ええる。」

● 反対討論

「核兵器使用禁止条約は、核兵器廃絶条約とは意味が異なる。日本を照準とする核ミサイルを配備している国が存在し、それらの国からの核の脅威に対して、アメリカによる核の傘によりその使用が抑止されていることも厳然たる事実。この条約を締結・批准するという

ことは、核兵器の非合法化、即ち核兵器の開発・製造・使用等の禁止、即ち核兵器を国際法上、非合法と位置付けることであり、日本は、アメリカによる核の傘を捨てなければならぬことになる。締結・批准後の日本をどのように守っていくのかという明確な方針と体制が確立されていない中で、この条約を締結・批准することは安全保障を放棄するに等しい。」

● 賛成討論

「核兵器禁止は、それを使わないというルールには真から賛同するものではない。戦争そのものが不条理と考えている。その意味で日本国憲法の9条には願いが込められていると思う。単純に9条を守れというものではないが、人が経験の積み重ねによる知性によって、戦うという本能に勝つための一歩として、賛同する。」

陳情5

「米軍基地負担に関する意見書」の採択を求める陳情書

不採択

● 反対討論

「一般の米朝首脳会談が物別れに終わったことで、北朝鮮は核廃棄どころか、さらに挑発傾向に向かう準備をしているとの報道がされている。日本は、日米安全保障条

約の基、米国に守られていると言つても過言ではない。本陳情書には、日米地位協定の抜本的な見直しとあるが、日米安全保障条約の目的達成のために我が国に駐在する米軍との円滑な行動を確保するため、米軍の施設・区域の使用と地位について規定したものであり、日米安全保障体制にとつて極めて重要なもの。国の在り方や外交にもかかわってくる重要な問題であると考え、本陳情には反対。」

●賛成討論

「昨年沖繩に現状を見に行つてきた。沖繩の現状がひどいことは皆さん承知のことかと思う。県民投票を行い多くの方が辺野古を埋め立てないでくれと結果に結びついている。また、自衛隊の基地は日本中に散らばつていて、自衛隊の基地も米軍が使いたいと言えば自由に使える約束はなされている。日本中が米軍基地になりえ、沖繩の現状がいつ私たちに置かれるかわからない。住民投票をしてやだと言つても聞き入れてもらえない。本当に地方自治が認められている国なのか。以上のことから陳情は採択すべき。」



議案第12号
平成31年度茅野市一般会計
予算について

●反対討論

「国民健康保険の保険料が協会健保に比べ2倍も高く、せめて子ども保険料の一部でも軽減してほしいと求めてきたが、市は一般会計からの繰り入れを否とし、予算にも盛り込んでいない。事務事業の棚卸しを計上してある。事務事業の必要性、有効性、効率性等の検証、それに基づく業務の統合、民間委託などを行う。市はこれまで全ての事務事業に対して膨大な時間をかけて事務事業評価を実施し、見直しをする仕組みを作っているにもかかわらず、外部に委託することは、自分の組織運営の改善が自分たちではできない、と悟つたと言わざるを得ない。研修予算は昨年と同額であり、学ぶなら全国の自治体に向き、自ら学び取り入れることが重要。今回の予算案は消費税10%を想定して計上されている。税率10%になった時、国民生活への打撃は計り知れない。以上の理由で反対。」

●賛成討論

「平成31年度予算は第5次茅野市総合計画に掲げる政策を基にした各種取組が安定した財政の基に、将来に向け持続可能な自治体とし



て存続するため、また、新しい市政に引き継いでいく極めて重要な予算である。併せて、第5次総合計画を本格的に展開するために、これからのまちづくりのビジョンを力強く推進する各種事務・事業の予算が随所に位置づけられている。市民にとって、活力と希望に満ちた夢のある元気なまちづくりを目指す、住民に寄り添った予算になるように期待して、本予算に賛成。」

議案13号
平成31年度茅野市国民健康保険
特別会計予算について

●反対討論

「市民にアンケートを取った中で、生活での困りごとは何かという設問に対して、一番の困りごとは国保税、介護保険料が高いこと。行政も先の質疑で国保会計を異常な状況と答えている。住民の声を届ける代弁者としての議員が一般会計から繰り入れなどの施策を求めるところは当然。よって法定外の繰り入れがないことに対して本予算案には反対。」

●賛成討論

「誰にも満足してもらえないための資金量には限りが見えず、一方、他の会計も含め調達できる全資金量には限りがある。予算の適否は限られた資金のなかで、諸々の社



会状況と市の状況を加味し、最善の配分がされているかを考察し判断すべき。本予算は適当であると判断し賛成。」

議案第14号
平成31年度茅野市後期高齢者医療
特別会計予算について

●反対討論

「消費税の増税はやめてほしいとの声は強くなっている。政府も2020年度予算が成立した後、増税の最終判断をするとも伝えられている。消費税増税は予定であり、確定ではない。予算には光熱費などの支出を、10月以降は消費税を10%として計上されている。増税の予定は10月なので、国会で増税が確定してからでも間に合う。市の財政も厳しく、柔軟性は失われ、前年度実績による予算化が目立つ。確定していない増税に向けられている予算を、市民の生活を支えるための予算に振り向けることを求めて反対。」

●賛成討論

「現段階では、10月に消費税の増額はほぼ確定の路線となっており、その方向へ社会は現実動いていることは否定しようがない。現段階で予算編成を行う際に増税を加味することは当然。本予算案に妥当性を欠くものは見出せず、適当と判断し賛成。」



平成31年3月定例会 陳情 議決結果

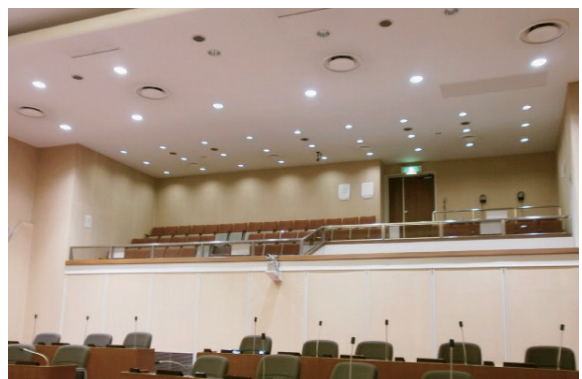
番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情2	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	賃金の地域間格差は労働力の地方からの流出を招き、地方の高齢化と地域経済を疲弊させる要因である。国に対し、最低賃金の地域格差をなくし、大幅に引き上げるとともに中小企業支援策の拡充を求めるもの。	諏訪地区労働組合連合会	採択	採択
陳情3	「消費税増税中止を求める意見書」の採択を求める陳情書	税金の集め方、使い方を見直し、大企業や富裕層を優遇する不公平税制を制すべき。住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える、消費税増税を中止することを強く求めるもの。	諏訪地区労働組合連合会	不採択	不採択
陳情4	「核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書」の採択を求める陳情書	核兵器のない世界を望む国内外の広範な世論に呼応して、唯一の戦争被爆国である日本も率先して、核兵器禁止条約に賛成すべき。国に対し、核兵器禁止条約に早急に署名・調印し、批准されるよう求めるもの。	諏訪地区労働組合連合会	不採択	不採択
陳情5	「米軍基地負担に関する意見書」の採択を求める陳情書	米軍機による低空飛行訓練等について、国の責任で実態調査や事前情報提供を行うとともに、日米地位協定を抜本的に見直し、国内法を原則として、米軍にも適用させることや、周辺住民の実質的な負担軽減が図られるための運用を求めるもの。	諏訪地区労働組合連合会	不採択	不採択
陳情6	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	拡大造林政策により造成された人工林が伐り出し困難、伐り出しても経費で赤字になるなどの理由で、間伐もされず放置されており、青々とした外観とは反対に、内部は下草も消え、表土が流れ、大荒廃している。山の保水力回復、災害に強い森造り、野生動物たちの餌場を奥山に復元することによる棲み分け、花粉症の軽減等を目的に天然林に戻すことを国へ求めるもの。	一般財団法人日本熊森協会	不採択	不採択

傍聴におでかけください！【議会棟3階】

市議会の定例会と臨時会の本会議及び各常任委員会は誰でも傍聴ができます。ぜひ皆さんも傍聴におでかけください。予約の必要はありません。本会議の傍聴席は、一般席と報道関係者席に分かれており、一般席は身障者用スペースを含め48席あります。

本会議の傍聴を希望される方は、当日、傍聴席入口に備え付けの傍聴受付証に必要事項をご記入の上、傍聴席へお入りください。事務局への連絡はいりません。なお、委員会の傍聴をご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

定例会の日程は、決まり次第茅野市議会のホームページとLCV11チャンネル(ビーナチャンネル)の文字放送でお知らせします。


[WEBで検索](#)
[茅野市議会](#)



3月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	松山 孝志	伊藤 正陽	小尾 一郎	長田 近夫	矢島 正恒	向角 秀喜	小松 一平	伊藤 勝	小池 賢保	樋口 敏之	山岸 正衛	望月 克治	宮坂 武男	北沢 千登勢	伊藤 玲子	
3	茅野市農業委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	平成30年度宮川第二保育園改修建築主体工事の請負契約について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	平成30年度中大塩保育園改修建築主体工事の請負契約について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	茅野市行財政審議会設置条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	茅野市廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	茅野市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	茅野市国民健康保険診療所の料金等に関する条例等の一部を改正する条例について	総	可決	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
10	平成30年度茅野市一般会計補正予算(第8号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	平成30年度茅野市水道事業会計補正予算(第2号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	平成31年度茅野市一般会計予算について	予	可決	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
13	平成31年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	予	可決	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
14	平成31年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について	予	可決	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
15	平成31年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算について	予	可決	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成31年度茅野市水道事業会計予算について	予	可決	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成31年度茅野市下水道事業会計予算について	予	可決	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成31年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成31年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成31年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	1 専決処分の報告について																		
陳 情	1 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める		議場 配布																
	2 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	経	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 「消費税増税中止を求める意見書」の採択を求める陳情書	総	不採択	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	○	○
	4 「核兵器禁止条約への日本政府の署名・調印と批准を求める意見書」の採択を求める陳情書	総	不採択	○	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	○
	5 「米軍基地負担に関する意見書」の採択を求める陳情書	総	不採択	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○	○
	6 奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	経	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議員提出議案	1 意見書案の提出について(最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議決日は、3月20日の議会最終日(但し、議案第3号は、2月25日の開会日に即決)

議長あいさつ

平成31年2月25日議長に就任しました。

茅野市議会議長 篠原 啓郎



初めに、議会が市民と共に活動できた事、市長部局と知恵を絞り合えた事に感謝と御礼を申し上げます。
さて平成の30年間、パソコンやスマホなど身近な生活用品が躍進し私たちの生活はずいぶん便利になりました。

一方、社会では少子高齢化や人口減少が進み、自然界では地殻変動や異常気象が発生し、時間を要する課題や予測の難しい課題に直面しています。このような環境下で、議会は絶えず広い視野と多角的見地から税の使い方に係り市民生活の向上と安心安全に努めてまいりました。

そして、平成最後の3月定例会で条例案件・次年度予算案件を可決し、新しい市長の基で展開される市長部局並びに新たにスタートする議会に茅野市の未来を託す準備を整え、今期の締めくくりといたしました。

結びに、茅野市の更なる発展と市民の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げご挨拶いたします。ありがとうございます。

委員会紹介

議員辞職、新議長就任により、委員会の構成が変わりました。
◎…委員長 ○…副委員長 平成31年2月25日から

常任委員会

所管事務の付託を受け、議案等を専門的に審査します

総務環境委員会 総務部、企画部、市民環境部、会計課、消防などの所管に属する事項を審査

◎北沢千登勢、○松山 孝志、小松 一平、伊藤 勝、樋口 敏之、篠原 啓郎(議長)

経済建設委員会 経済産業部、都市建設部、農業委員会の所管に属する事項を審査

◎長田 近夫、○矢島 正恒、小尾 一郎、小池 賢保、望月 克治

福祉教育委員会 健康福祉部、教育委員会、福祉事務所の所管に属する事項を審査

◎両角 秀喜、○伊藤 正陽、山岸 正衛、宮坂 武男、伊藤 玲子(副議長)

予算決算委員会 予算、決算に関する事項を審査

◎宮坂 武男、○小尾 一郎 ※予算決算委員会は全議員が所属しています

議会運営委員会

議会運営を円滑、効率的に行うために設置します

◎伊藤 勝、○両角 秀喜、伊藤 正陽、長田 近夫、小松 一平、小池 賢保

議員の寄附行為禁止について (お願い)

公職選挙法により、選挙区内において寄附行為が禁止されています。

- 政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止
- 政治家の関係会社等の寄附の禁止
- 後援団体の寄附の禁止
- 年賀状等のあいさつ状の禁止 (答礼のための自筆を除く)
- あいさつを目的とする有料広告の禁止

贈らない! もらわない! 求めない!

区、自治会や各種団体等での行事や催事へ議員をご案内いただく際には、必要経費分としての会費を明示してご案内いただきますようお願いいたします。

茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

3月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
伊藤 勝	1 茅野市消防団の団員定数と活動等について	(1) 団員数の推移と今後の定数の考えは (2) ポンプ操法大会の審査員の目的について (3) ポンプ操法大会も含め消防団活動の見直しの考えは
	2 鳥獣被害対策について	(1) 防護柵の現状と補修状況は (2) 防護柵で補完出来ない箇所への対応は (3) 報奨金の他市の動向と今後の見直しの考えは (4) 鳥獣被害対策実施隊の育成に対する考え方は
矢島正恒	3 平成31年度予算において核となる事業と今後の財政運営方針等について	(1) 新年度予算における核となる事業について (2) 現年度の財政運営を踏まえた新年度予算における財政の健全性について
	4 地域防災の中核となる消防団の団員確保及び器具・機材の適切な配備について	(1) 消防団員確保のための機能別団員の育成と活躍について (2) 消防団各部の器具・機材等の適切な配備と整備について
山岸正衛	5 上水道施設を利用したマイクロ水力発電について	(1) 上原山第一減圧槽での実証実験後の跡地利用について (2) 埴原田配水池における発電施設の活用方法について
	6 史跡の整備、活用について	(1) 駒形遺跡、上之段遺跡の整備と活用方法について (2) 棚畑遺跡の整備について (3) 史跡を活用したネットワークづくりについて
両角秀喜	7 観光振興の取組について	(1) 地域資源の発掘と活用について (2) 地域資源を活用した旅行商品について (3) 古民家宿泊施設の活用について
伊藤玲子	8 児童虐待・ネグレクト等の未然防止の取組について	(1) 児童虐待・ネグレクト等の相談・指導などの関わりを持った件数の推移について (2) 解決にむけての取組と現状について (3) 未然防止の取組について
	9 安全で災害に強いまちづくりについて	(1) 災害時の情報発信の現状と課題について (2) 茅野市のBCP（業務継続計画）の現状と課題について (3) 命を守るための取組について (4) 防災士の育成及び活動支援について
伊藤正陽	10 J Rと高速バス利用者の市の駐車場整備について	(1) J R特急あずさとスーパーあずさ利用者の割引料金で利用できる市営駐車場を増やすことについて (2) 高速バス中央道茅野停留場利用者用の市の駐車場拡張と整備について
	11 4月末からの10連休中の公的機関等の市民サービスについて	(1) 保育園及び学童保育の対応について (2) 市が実施している貸し館業務について (3) 医療機関との連携について
樋口敏之	12 入札制度について	(1) 現行の入札制度について (2) 入札制度の課題と問題点について
	13 発達障害支援について	(1) 発達障害支援の現状と課題について (2) これからの対応について

	件名	要旨
小尾一郎	14 柳平市政12年を振り返って	(1) 就任前と就任時、その後とで市政についての認識の違いは何か (2) 市政運営、政策立案・執行に際し住民との関係、議会との関係、利害者との関係で念頭に置いていた意思は何か (3) 市政運営に当たり、国、県、団体等、市政運営に影響のある組織との関係で感じたことは何か (4) 次期市長、次期議会に託したいことは何か (5) 住民に伝えておきたい思いは何か
長田近夫	15 風疹対策について	(1) 茅野市の現状について (2) 感染拡大防止の予防接種について (3) 茅野市の今後の取組について
	16 個人が使用する人工呼吸器等の非常用電源導入について	(1) 在宅医療機器で電源を必要とする患者数について (2) 貸出し用として、医療機器の非常用電源の購入について (3) 国の補助事業について (4) 必要台数と予算について
宮坂武男	17 道路行政について	(1) 県道槻木矢ヶ崎線歩道設置の進捗状況について (2) 粟沢橋架け替えと粟沢橋交差点の渋滞緩和策について (3) 都市計画道路玉川線の進め方について
	18 消防行政について	(1) 茅野市における消防体制について (2) 北部分署の移設建替について (3) 西部分署の今後の考え方について
松山孝志	19 柳平市政としての縄文への取組について	(1) 縄文が活かされたまちづくりの成果について (2) 縄文が活かされたひとづくりの成果について (3) 縄文を活かすために投入した費用と効果について (4) 縄文を活かすために更に目指すべきものについて
望月克治	20 消費税増税が茅野市に与える影響について	(1) 景気対策として導入されるキャッシュレス決済は、どの位の事業者が対応できますか (2) 軽減税率が導入されることによる、市内事業者への影響について (3) 増税分による少子化対策の影響について
北沢千登勢	21 全市民対象バス運賃一律100円キャンペーンについて	(1) キャンペーンの目的 (2) 実施時期と実施期間 (3) 市民への周知の方法
	22 市職員の給与に関する事	

編集室より

毎度『市議会だより』をご覧ください。この市議会だよりを発行いたしました議会体制は、4月までの任期であり、ご覧頂く5月には新しい議会体制となっております。ご覧いただいている内容は、旧議会体制での3月定例会の審議内容を中心にお知らせいたしました。

『市議会だより』は、議会改革の一環として市民に開かれた議会を目指して発行し、第29号を迎えることができました。これからも、新しい議会体制のもと、

『市議会だより』が充実し、市民に寄り添い、親しまれる開かれた茅野市議会として成長し続けることを期待いたします。

議会広報部会長
小松 一平



議会広報部会

部会長	小松 一平	部員	山岸正衛
副部会長	伊藤 勝	部員	望月克治
部員	小尾 一郎	部員	宮坂武男